

第1回安全基準・検査WG（議事概要）

日 時：令和6年10月29日（火）15：00～17：00

場 所：合同庁舎7号館905B 共用会議室

出席委員：清水座長、渡部委員、田村委員、土田委員、間島委員、中村委員、四方委員、平尾委員、飯島委員、尾形委員、松本委員、村田委員、小倉委員

議事次第に沿って、事務局から資料の説明を行い、意見交換を行った。主な意見は以下の通り。

議事概要：

- ・自動運航システムが担うタスクについて、例えば係船作業が含まれるのかという点を明確化すべき。
- ・安全基準（案）のうち、衝突・座礁回避の要件について、自動運航船が COLREG 条約を遵守するためには、自動運航システムの特徴を活かして「衝突のおそれが生じる前に」リスク回避することが重要であり、この要素は残すとともに、国際ルールの議論においても日本として積極的に提案すべき。
- ・上記に関連して、「衝突のおそれが生じる前に避航を開始する」という表現について、見合い関係に入ってから回避行動を想起するため、混乱を避けるために「避航」という言葉は変えるべき。
- ・自動運航システムの COLREG への準拠に関しては、現在 MEGURI 2040 プロジェクトにおいて開発している避航プログラムを委員にも実際に見ていただいた上で議論を深めていくべき。
- ・衝突・座礁回避の計画に関し、判断根拠を船員が知ることは重要。システムのパラメータを全て表示する必要はないが、クリティカルなものは船員が分かるようにすべき。
- ・自船及び相手船が自動運航船の場合を想定した際に、異なるシステム間のリンクを求めるのは難しいため、リンクできない前提で安全な航行ができるシステムにするべき。
- ・情報記録装置は、ブラックボックスのようにある程度の強度が保たれているべき。また、情報記録装置は気象や海象といった周辺状況についても記録するべき。

以上